



平成 27 年 3 月 27 日

各 位

会社名 南海辰村建設株式会社  
代表者名 取締役社長 猪崎 光一  
(コード 1850 東証第二部)  
問合せ先 取締役常務執行役員経営管理本部長  
片岡 健治  
(TEL. 06-6644-7802)

## 「3カ年経営計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」の策定について

当社は、平成 27 年 3 月 27 日開催の取締役会において、来年度からの「3カ年経営計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」の策定について決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 経営環境と経営政策の方向性

建設業を取り巻く経営環境は、建設投資の減少に伴う受注競争の激化や労務単価の高騰、建設資材価格の高止まりなど依然として厳しい状況にあります。

国土交通省の「平成 26 年度建設投資見通し」によりますと、建設投資と民間住宅投資、民間非住宅投資を合わせたわが国の建設投資総額は、ピークであった平成 4 年度の 84 兆円から平成 26 年度には 48.4 兆円に約 42%減少する見通しであります。また、建設業許可業者数については減少傾向にあるものの、平成 8 年度末の 56.4 万業者の業者数に対して平成 25 年度末は 47.0 万業者への減少に留まり、建設投資が大きく減少する中で受注競争が激化しております。

当社は、こうした厳しい状況の中で所要利益を安定的に確保していくためには事業内容の見直し・拡大が必要であるため、基本方針を「業容の拡大」と「経営環境の変化に対応できる経営基盤の構築」及び「企業価値を高め、復配の実現」として、「3カ年経営計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」を策定いたしました。

#### 2. 「3カ年経営計画（平成 27 年度～平成 29 年度）」

##### (1) 基本方針

- ①業容の拡大
- ②経営環境の変化に対応できる経営基盤の構築
- ③企業価値を高め、復配の実現

##### (2) 具体的指針

- ①人材の確保及び育成と技術力の向上
- ②営業力の強化
- ③価格競争力の確保
- ④品質の向上と安全の確保

## (3) 数 値 目 標 (連結ベース) (単位：百万円)

	平成 27 年度予算	平成 28 年度計画	平成 29 年度計画
売 上 高	40,500	41,100	41,500
売上総利益	2,900	3,000	3,100
営業利益	850	960	1,060
経常利益	710	810	920
有利子負債残高	12,500	12,000	11,500

## 【連結子会社】

連結子会社である南海建設興業株式会社、南海電設株式会社、日本ケーモー工事株式会社ならびに株式会社京阪電気商会におきましても、各社の「3カ年経営計画」に基づき、収益性の向上を図ります。

## (4) 数 値 目 標 (単体ベース) (単位：百万円)

	平成 27 年度予算	平成 28 年度計画	平成 29 年度計画
受注工事高	40,000	39,000	40,000
売 上 高	38,400	38,900	39,400
売上総利益	2,530	2,630	2,730
営業利益	800	900	1,000
経常利益	650	750	850
有利子負債残高	12,500	12,000	11,500

## 参 考

## 前3カ年経営計画 (平成 24 年度～平成 26 年度)

## 実績 (連結ベース) (単位：百万円)

	平成 24 年度実績	平成 25 年度実績	平成 26 年度見込
売 上 高	36,653	42,136	38,400
売上総利益	2,575	2,810	2,880
営業利益	762	835	890
経常利益	662	692	730
有利子負債残高	11,476	14,983	12,900

以 上